第四號 No. 4 The Woman's Weekly November 26·1915 (大正四年十一月廿六日)

婦人週報

主幹 小橋三四子 編輯主任 松本雲舟 (大正四年十一月四日第三種郵便物認可)

目次

婦人週報第壹巻第四號

動搖四十年…………小橋三四子
週評…………
時事…………
母親の遺傳と胎教…理學博士 山内繁雄
胎兒に對する母親の態度…………西園寺新子
一人一評——成瀬仁藏…………
四十年前の女學生…(穗積銀子、木村貞子、鳩山春子、佐方鎭子)…………
大典の後…………山脇房子
婦人スケッチ…………沢藤浩
湖水に投身して復活せる女(二)…………
オハナシ「生命の水」…………巣鴨村人
子供の智慧——御馳走をたくちやん…………
小説「奴隷」…………松本雲舟
ドンキホーテに就て…………
醫者とくすり…藥學博士 丹羽藤吉郎
鯛の料理…………万源主 宇野彌太郎
主婦の手帳…………
余が養生法(承前)…………薄田斬雲
婦人の防寒具…………嘉代子
家庭小言…………雲舟生
婦人自活の道 産婆…………
婦人の聲……一個の爆彈……氣の毒な都會の女…靈肉共に生きん…富士を見ながら
身の上相談…行儀見習ひでも…………
編輯室より…………

動搖四十年

小橋三四子

△女高師の記念式

女子高等師範は創立四十周年を迎へて、近く母校に其記念式を開くさうです。本紙は當時の新教育を受けて、現今尚各社會に活躍さる丶數名の方々の思ひ出を伺つて掲載致しました、當時の女學生氣質や、社會の狀態が、一種の諧謔に富んだ話しのやうに面白く聞かれる計りでなく、我が女子教育界は如何なる經路を辿つて今日に及んだかを知ることが出來て、今後の女子教育の方針を定める上に、大に參考にならうと存じます。

△内外の變動

何事も創始時代は、動搖して恒なきことは免かれぬ處でありますが、我が女子教育は其の最も劇かつたものでありませう。馬乘袴に斬髮姿で通學したものが、一朝これではならぬと一人の當局者が云へば、忽ち、日本髮にお太皷姿に變り、また或る有力の人が、新進の女學生がこんな保守ではと批評すれば、明日から洋服姿に改まると云ふ始末です。外形と共に内容の變動も推して知るべしで、眞に朝改暮令、改革にこれ日も足らぬと云ふ有樣でありました。最初教育を受けた者は、この間の試金石となつて、可成りさま〴〵の境遇を凌いで、我が國婦人等の爲めに兎にも角にも一道の光明を與へられた事は、感謝に餘りある事で、これ等の新進婦人等が中に並ならぬ強き要求を蓄へて居らなければ到底堪へ得る處ではありませんでしたらうと存じます。

△輿論のまに〳〵

其の後女子教育の普及と共に、學生氣質も平凡化して來たのは、止むを得ない處であります。只四

（毎金曜日發行）
發行所 東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
發行兼編輯人 小橋三四子　印刷人 小橋三四子
印刷所 四谷區尾張町五地番 万月堂印刷所

十年後の今日に於ても、女子教育に一定の方針無く、常に動揺しつゝある事は、昔と變りませぬ。尤も昔は當事者、或は有力の地位ある者の一人の説に動かされましたが、今日は歐米の思潮とか、社會の輿論とか云ふもので動いて居ります。何事も固定するといふ事は望ましい事ではありませんが、我が國の女子教育の如きは、動揺時代が餘りに長きに過ぎはしますまいか。結局女子が自身で女子教育主義に定論を作る迄は、いつ迄も根無し草の如く、輿論のまに〳〵動揺して、深い根底を作る折はあるまいと思はれます。

△女子の要求の上に

私共は今後自分の爲めに心を潜めて考へ、強い要求のある處に從つて、大膽に歩み始め、世の輿論をも作つて行かねばなりませぬ。メレーライオン女史によつて女子高等教育の先鞭を付けられた亞米利加は、最も女子教育の順潮に進歩し、且つ最も高い處に達して居ります。一人のメレーライオン女史は當時の婦人の代表者として婦人自身の強い要求の上に女子教育を打建てたので其後時勢と共に次第に進歩はしましたが常に根本から動揺するやうな浪費を免れたのであります。我が國今後の女子教育の隆盛を祈ると共に速かに根本の確立せんことを願はれます。

週評

◉議會と婦人　御大典と無事完うせる我國に落着く間もなく帝國議會の開會を迎ふることになりました多數黨なる政府は無事この難關をも切拔けることでありませう。婦人の選擧運動が近年盛んになつてから議會は婦人に親密なる關係を持つやうになつたとは事實です。わが國一般の婦人に政治の何たるかを解せしめるやうになつたとは、確に婦人の選擧運動の效果だと思ひます。斯る運動に對して彼此の批難もありましたが、これは極めて枝葉の事で、議會と婦人を結びつけた效果に較べたら、言ふに足りません。靜かに手を拱いてゐては、善い事も惡い事も出來ない。兎に角婦人の活動は、其の社會的地位を進むるのに最も必要な事です。議會が開かれたら、婦人傍聽者の日々多からんことを望みます。

◉景氣の回復　出超一億萬圓に達したと御大典のために、一般景氣が好くなつた模様です。株式界なども數年間に見ざる好況を呈してゐるやうですが、これが各個人に均霑するまでには行かないでも、兎に角景氣が好いと聽くだけでも嬉しい心持がします。さういふ心持は今までいかに不景氣續きであつたかを語るものです。

◉贈正一位　豐臣秀吉が正一位を贈られたに就て、秀吉は薨去の際も正一位を贈られてゐるのだから二重であるといふ批難が世間に起りました。二度正一位を贈られたら、正二位ではないかとも洒落を云ふ者もありますが、兎に角文部省あたりでは秀吉薨去の際に正一位を贈られたといふ史實を記せる中井竹山の逸史などは間違ひであると辨明しましたので、秀吉は正二位に成りさがらずとも善い事になつたさうです。中井竹山は故人であるだけに溫なしいから、自分が間違つてゐると言はれても、文部省に抗議を申込むやうな事はよもやありますまい。

◉英支同盟説　支那を聯合軍側に引入れやうとの運動と共に英支同盟が風評されるやうになりました。獨逸側の離間策だらうとも憶測するものがありますが、兎に角日本にとつては重大問題です。霞ケ關あたりではさぞ頭痛を止んでゐられると察せられます。

◉革命黨の消息　支那帝制問題と共に革命黨の消息が大分新聞に傳へられて居ります。袁は老人だが孫や黄はまだ年が若い。それはどうすることも出來ない革命黨の强味なのですから、自重してゐる間には、どうにか曙光が見えて參りませう。兎に角孫も黄も革命には一度敗れても、其の名聲が世界的になつてゐることだけは事實です。

□訂正　前号油谷次郎七氏を『マスターオブアーツ』させしは誤聞に付き訂正す。

時事

◎今議會の問題
各政黨の態度

御大典期に入つて一時靜かになつた我政治社會も、十二月二日には議會召集され、活潑なる政治期節に入るのでありますが、今期議會に國民の注意を呼ぶ問題は如何なるものであるか、その問題に對する朝野各政黨政派の態度等は又如何か少しく左に記錄します。

△乃木、大浦問題　反對黨たる政友會は飽迄此問題を以て現政府と爭ふべく、國民黨も相等に政府政擊の材料とする事でせう。同志會は政府與黨であるから、大浦問題は內閣改造と共に消滅した、乃木問題に就ては現內閣に關係ないと云ふ見地から反對論に當るでありませう。中正會無所屬團は大体政府擁護の位地に立つものと見られます。第二は

△海軍擴張問題　ですが政友會も國民黨も正面からの反對は出來ぬ歷史的關係がありますから何れも延期說を持ち出す位だらうと觀測するものが多い。第三は

△內閣居据問題　政友、國民兩黨が大に政府攻擊の材料とするは、疑なく、また同志、中正等與黨側が最も辯護に苦心する問題であります。即ち同志會としては內閣居据りを當然だと云へば加藤總理の辭職を無意味とする事となり、加藤總理の辭職を當然とすれば內閣居据りを攻擊しなければならぬ痛い板挾みになつてゐます。次は

△外交問題　ですが政友會は對支外交に就ては傍觀不干涉主義の立場から批難すべき事は云ふまでもありますまい。亦國民黨の此の問題に對する決心は甚だ堅いやうですから隨分烈しい論戰を見る事でありませう。

△減債基金還元問題　は貴族院方面に火の手最も盛であつて、朝野有識者間に於て最も頭を惱ましつゝある在外正貨增加の後處分問題と聯關せる重大案件ですから、政府與黨に於ても眞面目に研究せんとしつゝありますが、政友會は還元論を主張すべく、國民黨は還元反對論で獅子吼を吐く事でせう。最後に

△減稅問題　では國民黨が鐵道資金に二千萬圓の融通を爲さず之を減稅の財原に充つべしと主張する事でありませう政友會も時に人氣取り策として減稅を主張すべく見えますか、政府與黨に於ては海軍擴張を認むるからには當分減稅の見込立たずとて之れを問題にして居ぬ樣です。

回大廟御親謁

十七日の大饗夜宴を以て京都に於て行はせらるべき御典儀を滯ほりなく果され給へる聖上陛下には十九日京都より山田に行幸あり明くる二十日先づ伊勢大廟外宮なる豐受太神宮に御親謁あらせられ二十一日內宮御親謁あらせらる而して二十四日には畝傍神武天皇山陵御親謁の儀を行はされました。

◎英支同盟條約說

廿四日東京朝日北京特派員の報ずる所に依れば袁大總統は英國大使が英支同盟案提起以來陸國務卿等數人と二日間一睡もせず協議し廿二日は陸氏と英大使と二時間密議した其內容は「同盟期限十年、英支協同して獨逸の勢力を支那より驅逐す支那が獨逸に負へる負債は全部返還の義務なし」と云ふのであると獨逸側が云つて居ると又支那側から得た報道に據れば英支同盟交涉は倫敦に於て支那公使と英外相との間に開始されてゐるが其要點は「（一）歐洲戰爭終結後支那は國際會議に協商側と同樣の發言權を有す（二）支那は條約上獨逸に年々支拂ふべき二千万圓の償金を中止すべし（三）英國は獨逸海軍を牽制し絕對に東亞に侵入せしめざる義務を負ふ（四）支那は能ふ限り英國を援助し英國は支那と平等の國際的の位地を維持し且つ條約上種々優越の權利を享く」と云ふのであると、尙ほ同通信員は「日本が之に對し何等の行動を執つて居らぬより見れば未だ正式交涉に進み居らざるものと見るべし此の問題は支那の態度より日本の態度こそ注目に價す」と云ふ某英人の談を報じてゐます。

◎恩赦四萬五千人

今回の恩赦に浴すべき罪囚は、全國在監人五万二千人中の四万五千人に達し何れも刑期の四分の一乃至、二分の一の恩赦減刑されるのです。東京府にては東京監獄の死刑囚十四名の內四名が無期懲役

に懲役四百八十六名中百六十八名が刑期の四分の一乃至二分の一に減刑、又禁錮四十三名中選擧法違反騷擾罪は特赦、市ケ谷監獄にては千三百五十九名中千二百二十名巢鴨監獄にては、二千四百八十八名中千六百九十五名、小菅監獄にては千百六名中九百名、八王子分監にては百八十名の女囚中百七十一名、東京衛戍監獄にては百九十名の軍人中百七十八名何れも刑期の四分の一乃至二分の一の恩赦減刑された筈です。

◎米婦人記者のお世辭

我國に觀光の爲め來朝し帝國ホテルに滯在して居た北米市俄古の婦人記者シャルコフ夫人は夫君と共に二十日午後横濱出帆の地洋丸にて歸國の途に就かれたが、夫人は某氏記者に次の如く語つて「私は市俄古の二三婦人雜誌から依頼されて日本婦人に關する稿を起す筈です、私が二年ばかり前に參つた時と今度來た時とは日本の總てが見違ふ程進歩してゐます、要するに今回の觀光は非常に深い印象を得ました」と盛に日本を賞してゐました。

◎女流叙勳者招待計畫

石橋臥波氏發起の下に、叙勳女流教育家三輪田眞佐子、棚橋絢子、跡見花蹊、佐方鎭子、後閑菊野子、矢島楫子、津田梅子、山脇房子、嘉悅孝子、佐藤靜子の十氏を招待し、聖上陛下の御還幸を待つて一大祝賀會が開かれるさうです。これには都下五十餘名の女學校敎職員及女子敎育關係者が贊同者になつてゐます。

◎お乳人の候補者

府下荏原郡平塚村大字戸越七六一角田國松氏妻女角田こと(二七)は今回御生れあるべき新宮殿下の御乳人の候補者として選拔されました。同女は由緒ある家に生れ、一女二男の母として家事にいそしんでゐます。

◎株式界の好景氣

昨今株式界の景氣は素晴らしいもので、空前の大景氣を示してゐます。其原因は、例の軍需品の注文が引續いて來る、工業界は益々大多忙を極めると云ふ有樣、生絲は近來稀有の高値になり、米價も稍回復に向ひ、外國貿易は出超一億四千万圓にも上り在外正貨は益々增加するから內地の金融界は頗る緩慢で利子は年三分五厘から四分にしか廻らないと云ふ有樣ですから、資產家は遊んでゐる金で株でも買はうと云ふ處から盛に株式界に向つて集中されるそこで人氣は人氣を生んで昨今の景氣を見たのであります。

◎輸出超過一億四千万圓

十一月中旬に於ける輸出超過額は千二百七十八万圓に達したれば一月以降の出超額は實に一億四千四十九萬四千圓に上りたり

◎女學校出の藝妓

女學校出の感心な藝妓として新聞紙に傳へられた者があります。名は神保花子と云ひ當年二十一才昨年三月虎の門女學校を卒業した人だと云ふ。其哀れな事情として報ぜられた所は、花子の父は芝に和洋家具店を營んで相當の資產を有つて居たが、不圖した事から家運が傾くと共に父は病身となつたので營業も出來なくなり店を疊んで裏店住まいとなつた。本年夏父が病を養ふ爲め一人千葉の親戚に身を寄せた、其れに就て纏まつた金の必要が生じた所から遂に花子は僅かの前借で神樂坂の糸松葉と云ふ藝妓屋に身を沈める事になつたのであると云ふ事であります

◎子持ち女の萬引

小石川區戸崎町三十四女髮結海野のお福(二四)は二十三日白木屋呉服店にて繻珍丸帶一本を萬引して新場橋署の刑事に捕へられた。お福の脊には三歳位の子が「小父さん早くお家へ返して」と泣き請強んでゐたと云ふ事です。

女學校だより

▲女子高等師範學校　創立四十年紀念式を廿九日より三日間開催し廿九日は午前紀念式を擧行、夕刻より敎職員並に卒業生在校生の祝賀會あり、三十日は學校關係者に校內の參觀を許可し十二月一日は午前講演會を開く由。

▲英女子學塾　廿七日夜校長津田梅子女子の叙勳祝賀會を催す由。

▲女子美術學校　廿五日午後四時より上野精養軒に於て男爵の誕生と佐竹女史の叙勳とを兼ねて親籍、病院の知巳及學校の敎職員を招待して祝賀會を催したり

▲万年小學の紀念事業　万年小學校では大典紀念事業として活動寫眞會及び講演會を催し同校生徒及卒業生等並に父兄等を敎化せんと廿一日午後六時より其一回を催したり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

母親の遺傳と胎教

理學博士　山内繁雄

▲腹は借物でない

昔は、日本でも外國でも、子供は其父の種であつて、其母は畑であるとか、腹は借りものだなど、云はれ、母が子供に及ぼすものは甚だ尠いとされてゐたが、遺傳の方則に依ると、父母の精神肉体は同一の分量を其子に遺傳するものである。かく受胎の時は父母とも同等の質と量とを子供に傳へるのであるが、受胎後母の胎内にある九ケ月間に於て、子供が其母親から受ける影響は、實に著しいものである。

▲境遇萬能說

今から十年前までは、十七八世紀の學者間に流行した境遇萬能說の流れを受て、人間も生れる時は万人等しいものであるが、境遇＝外界の影響に依りて、馬鹿にも利巧にもなると信じられてゐた。誰でも熱帶地に住めば顏が黒くなるとか、脊の低い人も高い人のゐる國へ行けば高くなるとか、子供は妊娠した後でも食物の食合せ方で男たり女たり得るとか、成長後も教育次第外部の影響次第で賢者たり愚者たるものだと思はれてゐた。現今の社會制度の如きも、人間を往來同等のものと見て制定されてゐるやうに見ゆるのは、此境遇說の影響とも見られる。

▲最近十年の研究

然し乍ら、最近十年間の研究に依ると外部の影響よりも、遺傳質の方が重大なる關係を有すると云ふ事になつた。人間の能力の大体は親から遺傳された質に依つて定まり、教育などで何うする事も出來ない場合が多い。例へば低腦兒は普通のものと低腦の者との間に何れ程の階級があるか知れないの如きは如何に教育し如何によき外界の影響を受けさせても、どうする事も出來ぬと云ふので、遺傳万能を稱へるやうになつた。が、之れを批評する立場から見れば外界の影響と遺傳とは兩々相待ちて初めて、人間の完全なる發達を成すもので、如何に善良なる遺傳質を受けた子供でも、發育の境遇が惡るいと、充分其天分を伸ばす事が出來ないのである。

▲境遇と遺傳

然らば、如何なる境遇の下に何れ程、遺傳質を變化させるか、それは發育の途中に於て不自然なる狀態に置かれ　例へば暖か過ぎる室に置かれたり、ラヂウム、X光線等の如き異常の光線に當つたり、アルコールの臭、酸素の多い空氣の中に棲むとか、炭酸瓦斯のこもつた室の中に居るとかして―異常の刺戟を受けると、父母から受けた遺傳質は同じでも、非常に眼の大きいものになつたり、耳が大きくなるとか、足が短いとか、頭丈は普通でも他が小さいとか云ふ奇形兒になる。これは外部の刺戟が惡いからである。

▲胎内の九個月

受胎前及び受胎時に母親が普通と違つた狀態に居ると甚だ惡い影響を子に及ぼすか、尚受胎後母胎内に生育する九箇月間は最も鋭敏に母親の影響を受ける。之れは受胎後の事であるから、子供は既に胎内に一人格を爲してゐるので、此影響は遺傳ではなく、子供から見て矢張外部の影響と見るべきものである。即ち、例へば十七八才の母親なれば其れ丈の体質の強さ智德等の分量を遺傳し、三十才の母親ならば、其れ丈の圓熟したものを遺傳するが、若し胎内に在る九箇月間、自然の狀態に居らず、機械的に仕事をしたり、大きな震動を與へたり、前に述べたやうな惡い刺戟を與へたりすると普通ばなれのした者になつて生れて來る。之れは遺傳が惡いのではなく妊娠中母の狀態が惡かつた影響である。

▲胎内の祟り

此影響は肉体的と同時に精神的にもある。生れた時には少しも普通兒と違はぬ樣に見えるものでも母の胎内にある九箇月間の祟りが成長するに隨つて現はれて來る。

誕生後の外部の影響よりも誕生前―即ち母胎内にある九箇月間の僅かな刺戟が非常に大なる影響を爲すものである。それは丁度、二つの道に於ける發足點に於ける差

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は小やかものであるが、だん〳〵進けに隨つて其の差が大きくなると同じ樣な譯である。其れ故母親たるものは、唯に善良なる遺傳質を遺傳せイ事を努めるばかりでなく、受胎後は身を安静に持し、賢い思想を退け、進んでは聖賢の事跡を繙くなど、苟も胎兒に惡い刺戟を與へぬ樣に注意を怠つてはならない。

胎兒に對する母親の態度

侯爵令嗣夫人　西園寺新子

▲外らず適中する

私は近く一女を擧げました。これで三男三女の賑やかな子持ちでございます。他所樣ではよく男の仕度をして居たのに女が生れたの、女だらうと思つたら、男であつたのと申しますが、私は一度も當てが外れた事はございません。今度なども女であらうと、万事その仕度をして置きましたら、その通りでございました。懷胎中男であればよいがとか、女の子が欲しいのと云ふ考へを離れて、虛心平氣になつて居りますと、氣分で何となく解るのでございます。

▲長男の神經質

懷胎中の母親の氣分は、鏡にかけたやうに子供の性質にうつりますから、何よりもこの間は暢氣になつて居りたいと思ひます。長男に神經質の子が多いのは、母親が多くは新しい境遇と初産の不安とに怯えて居るからでございませうと存じます。子供も末に行く程暢氣で身体が丈夫になつて參り、末では能く爲ります。子供等の内で、父にも母にも微塵も無いやうな性質、しかもそれが厭はしい性質を持つて居る場合にどこから來たかと、頻に考へて見ますと、能く傍に付いて居る者に感染して居る場合が多いのです。

▲子供付の女中

これは傍に付いて居る者の性質が強がち惡いと申すので無く、敎育の心得が無い處から面白く無い習慣を作り出すのであらうと思ひます。例へば「お父樣が御出なすつたから、お止し遊ばせ」「お母樣が御覽になると大變ですよ」と云はれるので、子供は父母の前を作るやうになり、自然に僞善的な性質が出來て參るのです。子供の傍に付く者は、餘程調べますが、愈々置いて見て善くないからと、始終換ては、子供の爲めに、尚更可愛さうです。私は傍付は一人に一人と極めないで、二三人に共通にしたが、性質等の感染を防いでよろしからうと思ひます。

(一)(人)(一)(評)

成瀬仁藏

▲嘗て某新聞で、女子大學の內幕を在る事、ない事書立てた時、女子大學の幹事などは非常に神經を惱ましたさうであるが、其の係りの記者が、成瀬校長に面會して、「どうです、私の書いて居るものはいゝ加減大膽なつもりで聞いたところが成瀬さんは、「うん、大變よく書けてゐるやうだ」と自分の頭に眞實な與へたので、其の記者は度膽をぬかれ、それから成瀬さんに敬意を表するやうになつたさうである。

▲成瀬さんは經營家、眼がぽんやりして大きい所がある。物に頓着しない所が此の長所であらう、あれだけの小事、事に小さい事を並べたがる女の中に立つて、誰にも不平を言はせぬのは、このいゝ、ぼんやりした所があればである。若し成瀬さんが難しい顔の言ふ事に神經を惱ましてみたら、女子大學は疾の昔の、やうになるだらうと思はれる。

▲成瀬さんはぼんやりであるが、中々の讀書家である。新らしいものが好んで讀む。併しぼんやりであるために、それがまだよく消化しない中に吐き出されるので一般に反感されるのは、女子大學の依然で、會堂の講義に四五時間も辟易して聴かねばならぬさうだ。讀書なするのは善いが、成瀬さんの長所は學者的方面ではないのだから、性格に相應しい事を講ずるのは少し考へ物であらう。

▲成瀬さんは意志の人であると同時に、温かい情の人である。同じくなつた感情の集會に、雨が降つても、風が吹いても欠かしたことがないさうだ。さういふ温情があればこそ、若い女の學校を斯くになつてもられるのであらう。日本の女子教育のために成瀬さんの健在を祈らねばならぬ。

（くし）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四十年前の女學生

女高師今昔物語

女子高等師範では今月末日より來月初めにかけて創立四十年の記念會をするつもりですが、其頃の女學生の有樣を知るのは有益で興味あると思ひ、茲に女高師創立當時學生であつた方々の思ひ出を集めました。

變遷の走馬燈

女子大學教諭　穂積銀子

△異樣な扮裝

女學校と云ふものが初めて設けられた時代だものですから、それに集まつて來る人達は、實に種々なもので近所の子供を集めて敎へて居た先生も居れば漢學の塾に居た書生肌の人も居ると云ふ風で盛んに男女同權とか獨身主義を振まはした時代で、何でも男に負けまいとして服裝から動作まで、男子をまね、散髮の人なども居りました。

私が初めて入學した時に何でも先生に成ると云つて來たのだそうですが横文字を染め出した紋附の羽織に白縮緬の太い三尺を前で瘤結びに結んで餘りを縄の樣によつて片方の脇に挾んで其下に縞の袴を穿いた人が非常に眼につきました。こんな風で入學した生徒達は十二三の若い人でも、盛りを過ぎた年取つた人でも皆一樣に一尺五寸といふ短い袖で、木綿の縞の着物に日常は天鵞絨の半襟外行きには繻子の襟をかけて、小倉の縞の袴、それも襠高の袴などを穿いて居る人もあつたのです。髮は大きい唐人髷で、學校から渡された四分位の白い丈長をかけ、銀代の花瓣に女子師範學校と打ち出した簪を記章として必ずさしたものです。初めの中は、髮結を入れたものですが、段々生徒が考へる樣になつて、土曜日にはお互に結ひ合ひをするのですが上手の結手の處には、中々澤山の豫約がありました。かうして髮を結ばねばならぬ事になりますと前に散髮で居た人も、俄に髮を延ばさなければならない必要から、小さい子供のやうに丁髷みたやうなものを幾個もつけて毛を延ばすことに苦心するといふ風で今から考へると實に滑稽でした。

△洋館の行燈

あの時分は古雅な日本式などはさつぱり振はなかつた時ですから寄宿舎はすべて洋館で、食堂でも部屋でも皆テーブルに椅子を置いて得意がつたものですが、電氣なんぞまだ無い時ですから、其の洋館に高さ一尺六寸左右が擢りガラス、前が普通のガラスで作られて居る行燈を置いて勉强しました對象が面白いぢやありませんか。

△婦人會の立消

この時の攝理が中村正直さんで世間の婦人との智識交換をするといふ目的で、月一回の婦人會を組織しましたが、勿論外來の婦人が一度も話して呉れたことはありませんでした生徒はこの時を利用して物理化學などの實驗をして見せたり研究をした事を話し合つたりしましたが中村先生がお退きになると共に此の會も亡びてしまひました

△直譯躰の講義

敎育方針等は實に混沌たるもので、數學の先生が四則で解かなければならない問題を代數で解いて生徒に解らなくても平氣で居るといふやうな事は珍しく無かつたのです。科學書等は直る其のまゝで何を意味するかすら解らない先生に敎へられる生徒は亦六ケ敷い直譯体を其のまゝ無闇に案誦して、唯覺えただけ居たのです。体操なんか、その時分には、少し苦しいものだ位で、平氣にやつて居たのですが、只今考へて見ますと、兵式体操をさせられて居たのですから、苦しいのは當然だつたと思ひます。

この時分の女の先生としては棚橋絢子、豐田冬子、松本荻枝の三先生居られました。

△舊式の復興

こんな具合で學力から申せば男子に遠く及ばないのですが、息込が荒いものですから、『亂暴だとか、おてんば』とか云つて新聞等で盛に攻撃されたものですから、中村先生に代つて攝理になられた福羽美靜子爵は、女は、女らしく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なければいけない」云ふので、假に袴を取らせて帯と結ばせ、一定の唐人髷を廢して、年相當の髪と結ふやうにと云ふので島田、丸髷、銀杏返しと云ふ風に一寸の間に變化し、寄宿舍もテーブルに椅子は似つかしく無いと云つて机を故小笠原様と松岡明義様の二人が禮式を教へる、お茶も習ふといふやうに昔に返つたのです。此の時分が初めて仲道雄先生が校長となつた時代で後閑さんなどの生徒時代です。

△一躍洋服に

其後伊藤博文さんが歸朝して、寄宿舍を參觀され、女學生がこんな舊式の風をしてゐてはいけぬと言つて冬はフランネル、夏は双子でいづれも縞で洋服を拵へたのです、それで一週に一度舞踏會を催して大學の教授連は指導者兼相手となり、幸田さんと遠山さんとがピアノを彈いて踊つたものです。

これが再び袴に戻つたのは只今の中川校長が幹事の時代でしたが一度廢した袴を再び用ひると云ふのは餘程考へなければならないと大分反對の聲が高かつたのですが洋服を廢した後の和服には是非袴が必要だと云ふので再び用ふる事になりました。而して此の時には毛繻子の無地で凡てアンドン袴を用ふるやうになつたのです。

痛快な思ひ出

梅花女塾出　木村貞子

△焼芋屋買收

あの頃は大体質素でバンカラで亂暴でした。賄征伐も盛に行りましたし先生との衝突もどし／＼やると云ふ風。或時、皇后陛下が學校に行啓されましたので、其日はお休みのつもりで皆んな喜んで居りますと、授業は無いが、外出は許さぬと云ふので、寄宿舍にゐた總勢七十人の生徒が、先づ取締の處へ押しかけると、幹事の方へ行けと云ふので、殆んど百姓一揆でも見るやうな勢で、幹事室に押かけ「出して呉れ／＼」と談判しました。此勢ひに幹事も遂に「買物だけは許してやる」と折れて出たので、生徒は欣喜雀躍と云ふ形で、一人のこらず焼芋を注文しました。何しろ七十人からの生徒ですから、二人の小使が寄宿の二階へ上り得ぬ程擔つて來ので、皆んなで、大びらで喰つて快哉を叫んだものでした。

△雪合戰

冬になると盛に雪合戰をしました。日頃會計係にいぢめられてゐる小使などは、炭俵に一杯、石のやうに堅くした雪彈を運んで來て「うんと一つお願ひします」などと生徒の後押をする。先生と職員一同を向ふに廻して七十人の生徒がどし／＼攻撃するのは却々痛快でした。日頃憎まれてゐる先生などは隨分ひどい目に合されたものです。或時修身の老先生で柴田と云ふ人が、女が雪合戰などするものでないと言ひに來たが生徒達は之れに耳を貸さず「先生お目出度う」と八方から雪彈をお見舞申したので「これは耐らぬ」と老先生は引込んでしまつた事がありました。こんな有様で私などは風邪を引いてゐても一合戰して來ると癒ると豪語してゐたのです。全くあい時分は男だか女だか判らぬ有様でした。

△日曜は食道樂

無邪氣なもので、一番の樂みは日曜日の外出で、皆んな夫々實家に歸つて、日頃まづいものばかり喰はされてゐる腹慰せに、御馳走を鱈腹詰込んで寄宿舍に戻る時は、各々にお菓子などを持つて歸り日曜日は喰ひ通すと云ふ有様でしたから、月曜日などは皆んな寢ぼけた様な顔して教場へ出たものです。それでも皆んな可成り熱心に勉強した様でした。

勉強に夢中

鳩山春子

△野育の無邪氣

私は明治七年から竹橋の女學校に學びましたが、明治八年に女子師範が創立されましたので、同級の古市さんのお妹のおらくさんや、菊池武夫さんの奥様の峰子さん等は直く轉校なさいましたが、私は少し後れて入學致しました。當時の女學生は、態にも振にも構はずに、只一心に勉強斗りして居りました。丁度私は郷里に母を殘して父に伴はれて上京し、その膝下から通學して居りましたので、行儀作法の小さい事は世話をやかれず、漢籍の復習等をして貰つては、「此處は先生のが違つて居るから、學校に行つたらさう云つてやれ」などと紙に書いてくれると教場で臆面もなく教師を遣り込めるといふ風で、無邪氣と云はうか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

野育ちと云ふか、丸で何の拘束も無しに生立つたのです。當時は十五六でありましたが、父が何時迄も一人で居る積りだと申すと、二十七八、三十迄の獨身で居りますと申しますのが、また父の自慢でありました。そして學校から歸ると疲れて居るので、一旦寐て、夜中に起きては土藏の中に入つて勉強するといふ風でした。代數などは毎週二百題も宿題を課され、幾何も毎日のやうに課題がありましたので、家に歸ると石板と首引きで圖を畫いては考へ、解答が出來ると、金の山を貰つたより嬉しかつたのです。殊に私の級は有名のやかましやが揃ひで競爭もはげしく、僅か十五六人の生徒の中七人迄は卒業の平均點が九十七點何分といふので、一點とは違はなかつたのです。

△新しい男女

かういふ風で、良妻賢母等は夢にも見ませんでしたが、よくしたもので、當時洋行して新しい學問をした男子が、妻を貰ふなら自分の母のやうに男の奴隷になつて居るやうなのは面白くない、少しは話も解り、理屈も云へるやうなのが欲しいと云ふので、卒業後は一人の不具の方を除いては、皆結婚しました。私も卒業當時鳩山と婚約を致しましたが、どうも教師をして見度くて仕方が無い、鳩山も半年位はよいと申してくれたので母校の乞ひに任せて、その儘止まつて教師をしました。當時の婚約はまた面白いもので、その半年の間、一度も先方と顏を合はせずに互に時機を待つて居りました。

その後凡そ四十年、時代の寵兒として幸福に逢つた者も、世の辛酸を嘗め盡した者も、さま〳〵ありますが、今でもあの頃の人々は非常に智識慾が旺んで、また世の批評や人の思惑を考へずに、自分の判斷を以て事を決し、これを遂行するといふ氣概と忍耐とがありますが、恐らく當時の學風が生んだ賜物でございませう。

昔と今の相違

女高師教授　佐方鎭子

△雜種な生徒

私共は明治八年第一期の入學でしてその時分の生徒と申しますものは、小學校卒業生すら少い時分ですから、漢學の塾とか又は家庭で教へられて居たやうな人達が這入つた時代です。年齡等も種々で十三四才の若い人も居りますれば、かなり年取つた人も居るといふ風で、學校としても一定の教育方針が定まつてゐませんでした。こんな時代から只今を見ますと一定の基礎の上に建られた今日は、昔の様に特種の氣概を持つて居る生徒を見る事は出來ないやうになりました。

△氣風が違ふ

私共が入りました初めは、裁縫とか家事とか申す學科は大部分の生徒から嫌はれたものですが、今日では代つて家事科を志望する人が多くなつたといふ處を見ましても如何程昔と今と學生の氣分が異つたかと云ふ事が知られます。而して非常に眞面目に勉強するものが多く、各自責任を重じましたものですから、外出などにも、面倒な規則とか、外出簿等とか云ふもの、必要は殆んどありませんでした。

大典の後

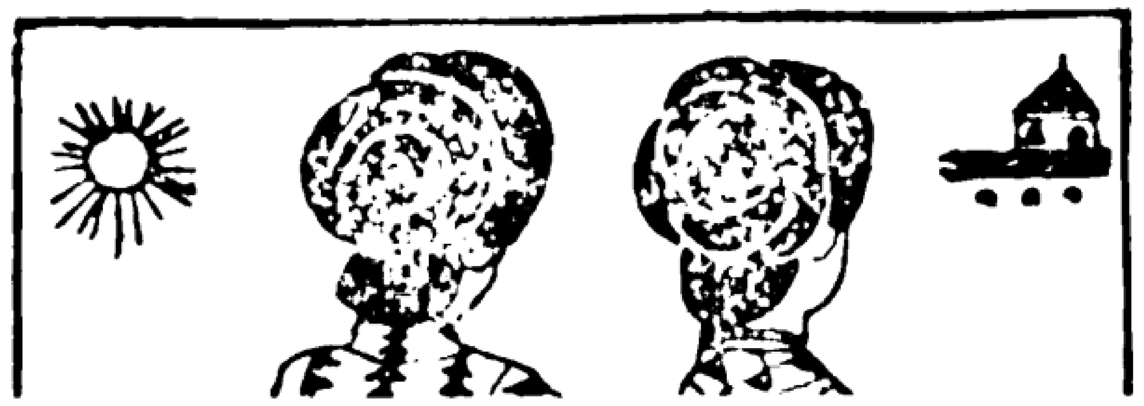
山脇女史の感想記

「夜分は隙暇ですから」と云ふ、お電話を戴いた月曜日の夜、銀のやうな月光を浴びつゝ、赤坂檜町の山脇房子女史邸をお訪ねいたしました。

「大へん、よい夜ですこと」と應接間の扉の處で女史の嫣々な晴れ〴〵したお聲が聞こえる。卓を中に向ひ合うて椅子を占められると記者は女史の敍勳の事から伺ひました。「九日の朝でしたか、京都で新聞記者の方の訪問を受け、私が敍勳されるのだから何か感想をと言はれたのが初耳で、十日の午

□金魚の行列

束髪がだん〳〵膨脹して頭の格恰が益々大きくなつて行きます。袴の裾が羽織の裾に壓され防げられて歩く度毎に重くるしくもつれてひどく埃を立てます。かうした女生徒諸君が三々五々打つれて街頭を濶歩する其後姿を見るとどうしても金魚の行列としか見えません。

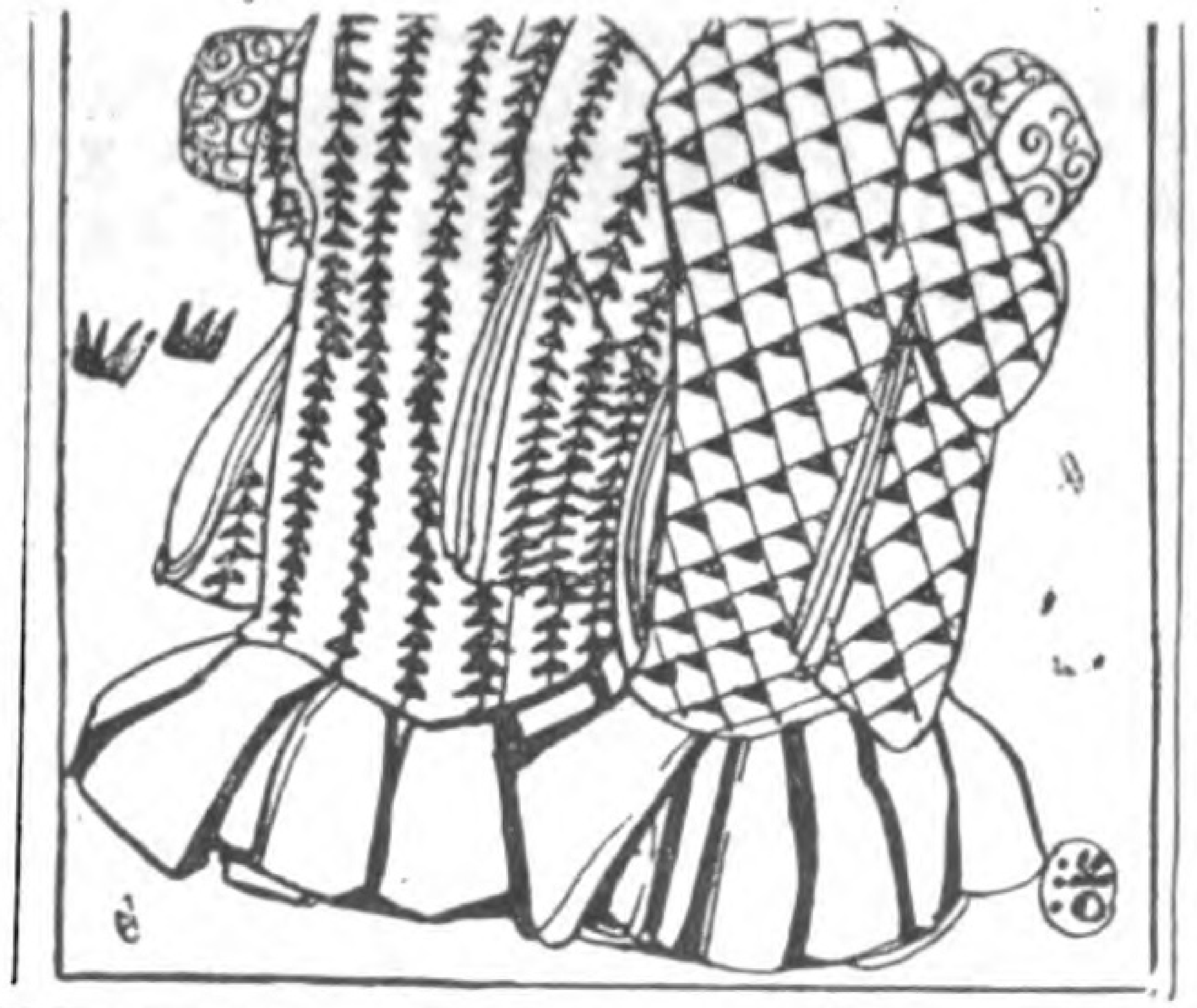


Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

後正式にお達しを受たのでした」と叙勳については多くを語られない。「それでも東京へ歸つて見ると學校（山脇高女）の生徒達は、廿一日の校友會に祝賀會を兼やうなどゝ騷いでゐたり、地方の卒業生等からお祝ひなどが屆いてゐたりしましてね」と流石喜びの色は頰に浮びます。

唯神々しく

お話は御大典參列の時の事に移る。「御儀式は只もう神々しいので



小さい身体がいとゞ小さくなるばかりでございました何よりお案じ申上げられましたのは陛下の御健康でございましたが御壯健に渡らせられましたのは誠に畏き極みに存じます。それから御老体の大隈さんが立派に御役目を果された事も喜ばしい事です。が、大隈首相が紫宸殿の儀に於て壽詞を七分程讀まれた時遠く號砲（十日午後三時三十分）が響いて潮の如き民草の萬歳の聲が轟いて來たので參列者一同少しくはら〳〵いたして居りました」と大隈首相は最後まで立派に壽詞を奏し終つて階段を降り、萬歳を唱へられた。「其の聲が大きくて、實に大出來でした」と女史は感心したらしく云はれました。

△大饗の膳部

猶話してゆかれる中に、右近の櫻、左近の橘の所で「橘がほんたうによく實つて居りました」と女史の言はれたのを聽いて、記者は大嘗祭の情趣を思ひ浮べる事が出來たやうに感じました。

「大饗宴の華やかさも口にし得ませんが、其時戴いて來た膳部がありますからお目にかけませう」と女史は裏手の十五疊の間へと先に立たれる。叙勳お祝ひの贈品と覺ゆる品々の間に、一段高く置かれたのが勳六等寶冠章で、其傍に大典參列記念章が見えました。其下の處に白木のお膳に素燒の酒盃皿碗等が配置よく列んでゐる。其中茶碗の中には麴のやうに見える御飯の塊りが入つてゐました。「此御飯が、新聞で一粒二錢とか書かれてあつた祭田米なのですよ」と女中の說明を聽いて成程ともう一度念入りに視ましたが、只色の非常に白いと云ふ外變りはない様でした

△純朴な京都

「大禮使の事務の行屆いてゐた事は一番心地よく感じました」と應接間に戻つてから女史は言はれる

「それから、京都にはまだ純朴な風が殘つてゐて東京邊で見られない親切心をあちらの人に見ました私達二人と女中一人は大丸呉服店の本店主で井上七左衛門と云ふ舊家に宿をとりましたが、一家を擧げての親切な事は全くお話も出來ぬ程で、迚も今の教育を受けた婦人ではあれ程細かい處まで氣がつくまいかと思はれます」と京人の優しき人情美を賞してゐられました。（晃）

噂

▲大隈伯夫人は非常の衛生家で、爪は一週に一度醫者に切らせる事に定まつて居ります。三度の食事も伯と夫人との御飯を盛るには、杓子を用ひず、お箸で念よくつけさせるさうです。それは御飯の問りが無いやうにとの心遣ひからださうです。▲西園寺新子夫人曰く、「この頃上流の若い夫人は人の家をお訪れするのにお土産を持つて行かなくなりました」▲廣岡淺子女史は當代の女傑で、怖いやうな方ですが、存外柔しい子供のやうな情緒を持つてゐる人で、虫けら一つでも生物を殺すのが大嫌いださうです▲『京都人は歴史的關係からであらうか、皇室は京都のものと云ふ樣な考へを持つてゐる樣に、今度の大典に際しての奉祝の有樣は實に盛んなものだつた、「えらいこつちや〳〵」って言ひ乍ら氣も心も浮かれてゐた、電車の中で一人が踊つたら皆んな踊り出したと云ふ話さへあるんだから、▲而し京都の奉祝には何んとなく活氣がない、万歳を唱へるにしても東京人のやうな大きな聲が出ない、それで「惡屋の一人が、あれだから兵隊さんが弱くなるんだつて」云つてゐた』とは御大禮に參列された統計官二階堂保則氏のお話

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人週報　第四號
（大正四年十一月四日　第三種郵便物認可）

湖水に投身して 復活せる女（二）

大死一番絶後に蘇る

その中に私は何か知ら快よい氣持ちになつて參りました。水の中にゐるといふ氣持ちさへなくなつて、行つたやうに思はれます。「これで私の生涯は終るのだ」確にその言葉だけは、心の中で繰返しましだ。そして再び明かるい地上に出られない事を少しは殘り惜くも思つたやうに感じられます。然し死ねば私は救はれるのだ、とさういう初めの決心はこの期になつても、私を安心させて呉れました。静に瞑目して微笑んだ事だけは、覺へて居ります。

＊　＊　＊　＊

それから後は幾時間を經過したか知りませんが、遠くで呼ばる、心持がしたと同時に、逞しい男の顏を私は認めました。それが村の駐在所の巡査だつたといふ事はあとで知りました。

＊　＊　＊　＊

大死一番絶後に蘇ると語録で知つた一句が、幸か不幸か、私に役立つ場合になりました。

＊　＊　＊　＊

都から迎へに來て呉れた若い人は、何一言彼に對する怨恨を述ず只死に赴くを幸とすると書いた私の手紙を讀んで、始めて安心したと申しました。恨まれたとすると寢ざめが惡い、又このまゝ死なれたとすると、自分が世間から惡く思はれる。この二つの點ばかりが、この若い人の懸念であつたらしく、私の生死はそれを外にして何とも深く思はなかつたやうに受取られました。

「あなたは夕顔の巻をおよみになりましたか」と私は水から上つたまゝの亂髪を枕につかねて、臥せつて居りましたが、その若い人に尋ねて見ました。その男は高等學校の時に源氏の抄を教へられた時讀んだと答へたのです。

「源氏が五條の宿から夕顔の君をつれて、河原院に行く凄艶の一節を覺えてゐらつしやいますか、源氏は丁度あなたのやうな性格でした」と私は興奮した感情のもとに云つてしまひました。その男は何故かわからないやうな眼ざしを私に向けましたから、

「夕顔の君がもの、けに襲はれて死んでしまひます。その死骸を抱いて、源氏は何を思つたか御存知ですか」

「生命をかけて何の契りにかゝるのを見るらむ。思ふとも世にある事、隱れなくて内に聞しめされん事を初めて人の思はむ事、良からぬ童の口すさびになりぬべきなり」とか何とか云つて居たと覺えて居ります、自分で死地に陷れたと同様な女に對して、男といふものはこんなにまで冷淡なものでせうかと、私は彼の顔を見詰てやりました。離れ〳〵の荒んだ想ひを抱いて、私共は都に歸りましたが、それから後は三年四年の葛藤を根こそぎにすることばかりを、私共は企てました。何も彼も過去の因縁から離れた私は幾分かの淋しさを感じないわけには參りません。讀み馴れた源氏物語の卷々を机に展て古い弱い女性達と同じ夢の様な二週間を送りました（終）

生命の水（四）

巣鴨村人

王子は家來と一緒に、狩に參りました。王子は、森の中に行きましたが、家來の顔が、いかにも悲しさうなので、王子は「お前どうかしたか」と尋ねますと、家來は「どうもお話が出來ません事で」と言ひました。王子がたつて尋ねますと、家來は「王様から實はあなたを弓で射殺すやうに命ぜられました」と白狀しましたので、王子は吃驚して「どうぞ私を助けてくれ、それにはお前と衣物を換やう。私のこの衣物をお父さんの所へ行つて見せてくれ。私にはお前の粗末な衣物を貸してくれ」と頼みますと、家來は「宜しうございます。私は初めからあなたを殺すに忍びませんでした」と言つて、王子の衣物を脱せ、自分の粗末な衣物を王子に着せて、

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA
Digitized by Google

森の中から出て行きました。

それから暫くすると、三人の立派な使ひが三男の王子に、金や寶石を澤山獻上するために、王の御殿へ參りました。これは前に三男の王子から、劍とパンを借りて敵を破り、人民に養つた國王が其御禮に寄越たのでした。年老つた王樣はそれを見て、急に三男の王子が可愛想になつて「あゝ、あの王子が今生きて居ればな。殺さねよかつた」と大聲嘆かれたので、かの家來はこの時とばかりに「いゝえ王子は生きておいでになります。私は殺すに忍びませんでしたからお助けしました」と言つたので、王樣は躍り上るほど喜んで、三男の王子に御殿へ歸つて來れば、赦すからと國中へ布令を出しました。話は後へ戻つて、魔の御殿に居た彼の姫さまは、自分を救つてくれた人の來ることを熱心に待つてゐました。其の御殿に通ずる路には眩いほど光る黄金をひかせました。さうして家來に向ひ「若し馬へ乘つて、この黄金の路の上を眞つ直ぐ來る者は、私の眞に愛する人であるが、若しこの路を避けて通つて來る者があつたらそれは僞物故、直ちに追返してやれ」と言ひつけました。

一番年上の王子は自分こそ急いで姫樣の所へ行つて、姫樣を自分の奧樣にし、其王國を自分のものにしやうと思つて、御殿の前まで行きましたが黄金の路を見て「この美しい路を馬で乘切るのは惜い」と言つて、其わきの方を通りました。王子か門の前へ行くと番兵が、「あなたではありません」と言つて追返しました。

第二の王子が同やうに參りましたが、これも黄金の路へ行つて、乘つてゐる馬が一歩踏み入れると「これは大變、こんな奇麗な路に馬を入れては」と言つて、矢張り片側を通つて、門の前に行くと、番兵が「あなたではありません」と追返しました。

三男の王子は森の中で危く生命を助かつて、自分が約束した姫さまの許へ大急ぎでやつて來ましたが、路々も姫さまのことばかり考へてゐたので、路に黄金がひいてあることなどを少しも氣がつかず、づか／＼と馬を乘入れて、門の前に行きますと、番兵は早速門を開けましたので、姫さまは大喜びで王子を迎へ、王子を自分の夫にし、父王の國の殿樣にしました。

王子と姫樣が再び會つて喜んでゐる際に、丁度王樣が王子を赦すといふ布令を聽いたので、それでは結婚しない内に、お父さまに逢ひに行かうと言ふので、王子は姫樣を連れて、國へ歸りました。さうして一部始終を王樣に話ましたので、王樣は兄さん達の事を大變怒つて、重く罰しやうとなさると、兄さん達は逸早く、逃げ出して船へ乘つて、遠い／＼國へ行つてしまひました。

王子は姫さまと目出たく結婚の式を擧げましたが國中の人がお祝ひに來ました。その中には砂糖袋を被つて新しい赤い衣物を着た一寸法師も居りました。

子供の智慧

□齒磨粉を顏に塗る

進さん（五ッ）が或る朝、顏に肉色の粉を塗つて「からいからい」と申して泣いて居ます。とうしたものと聞きますと其所にあつたハミガキの袋を指さして此れをつけたと申します「なぜこんなものを顏につけたか」と云ひますと「お姉樣は毎朝これで顏を洗ふ」と云つておい／＼と泣きました。お姉樣は袋入れの洗粉で顏を洗ふのですのに。

□御馳走をたくちやん

清子ちやん（六才）は主の祈りをお母さまから教はつた時、「日用の糧」とは毎日食べる御飯のことだと聽きましたので、それから寐側に主の祈りをする時に「日用の糧」まで來ると、いつも何か解らぬことを言ふのでした。お母さんが「清ちやんは何を言ふのか」と尋ねますと、清ちやんはさも氣まり惡さうに「日用の糧と御馳走をたくちやん與へたまへと言ふの」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說

奴隷（其四）

松本雲舟

八

村雲は過ぎた。二人は決して再び其の事を言はなかつた。二人の行路は明るかつた。敏子は井ノ頭の事があつてから、益々政雄になれ〳〵しくした。疊一疊おかねば、女の友達でも對座して話するのが嫌やと、よく言つてゐた敏子は政雄の宿に來ては、机の横に座つて、政雄の原稿を書く邪魔をした。あなたに手紙を書くのだからと言つて、政雄の原稿紙を取つて行つた。その原稿紙には、敏子のやさしい細い奇麗な文字を書き並べて政雄の許へ送り返へされた。それを喜んで讀む政雄の鼻には、淡い香水のかほりが感ぜられた。

政雄の心には敏子を疑ふ念は全く消え失せた。あんな事を言ふたのも、何か少女心の幻想だらうと想つた。現實の敏子は自分のものに相違ないと感じて、一緒になつたら、あゝもしやう、恁うもしやうと空想した。

『敏さんから、私といふ者を取去つたら、どうなるだらう』と政雄は或る時何氣なく恁う言つた。實際政雄から見れば、眞實にさう考へられたのだ。

けれどもさう言はれて、敏子はむつとしたやうに顔を赤めて、

『それは、あなたの空想よ』と語氣を強めて、『私はあなたを離れても立派に存在してゐけますわ』

と言つた。

政雄は自分の主觀の誤謬を摘發されて、左も驚いたらしく、『心からさう思つてゐるのですか』と駄目を押した。

『えゝ、私は僞りを言つた事はないわ』と敏子は極めて眞面目に居ずまゐを直した。其の風姿には犯しがたき品位があつた。

『さう言はるれば、さうですね』と政雄は折れて出た。『男でも女でも獨立の存在が出來ぬやうでは仕方がありませんから』

『解つて』と敏子は忽ち笑つて、『だから私は私、あなたはあなたよ、どちらも獨立國なの』

『朝鮮のやうに併合したら』と政雄も笑つた。

『私は朝鮮のやうに弱くはないのよ、あなたは日本のやうに強くない』

『それでは、私が朝鮮のやうに併合されませうかね』と政雄は何處までも下手に出る。

『私、朝鮮のやうな男は大嫌い』と敏子は吐き出すやうに言つた。

政雄はこのかよわい二十歳を越したばかりの少女が自分を支配してゐる力の大なるに驚かざるを得なかつた。男として最も強い自分をこれほどまでに下手に出させる少女の魅力を心窃に嘆賞した。腕力でも智力でも、精神力でも、自分が力を角するつもりなら赤兒の如くに扭り倒すとの出來る女の愛の力を想ひ耽つた。

『何を考へてゐらしやるの』と敏子は政雄の顔を下から覗いた。

『象をもつなぐ女の力を考へてゐたのです』と政雄は敏子の柔かな頰を右の掌でなでた。

『もう、歸らう』と敏子はそれには答へず、歸りかけたが、何に想つたか、政雄の机の抽出から、小さな鏡を取り出して、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA
— 90 —

「静然としてゐてちやうだい」と言ふなり、安座をかいてゐる政雄の帶の上に其の鏡をたてかけた。
政雄は敏子のするまゝに任せてゐた。
敏子は政雄の胸に危うく立つてゐる鏡に自分の顔を寫して、髮を梳し初めた。
「善い鏡たてね」と敏子は笑ひもせずに言つた。
「成程上等だ」と政雄は敏子の額の生えぎわの奇麗なのに目をつけて言つた。
敏子は袂から白粉の羽毛を出して、眼の下から鼻のあたりを軽く叩いた。敏子の顔は見る〱白くなつて行つた。
「これは何の表象ですか」と政雄はお化粧を終つた敏子に言つた。
「なんでもない」と敏子はすまして、「恁ういふ事も美しい記念になるでせうね」

寄生論（一）

（シユライネルから）

雲舟生

オリーブ、シユライネル女史の有名な「婦人と勞働」の一節を抄譯してお目にかけます。婦人勞働問題が西洋でどれほどまでに叫ばれてゐるかゞ能く解るからです。

＊　＊　＊　＊

近代婦人の叫び聲を静に聽く人は、其の主調として恁ういふ要求に氣がつくであらう。曰く、『我等に勞働と勞働に適する訓練を與へよ、こは我等自身の要求ばかりでなく、人類のための要求である』と。

一言にして盡せば、『我等に勞働を與へよ』といふ事である。幾千年、否、幾百万年無限の時代に於て、婦人は働いて來た。元始の男が獵をしたり、戰つたりして裸で彷つてゐた時に、婦人は男と一緒に彷つた。男と歩調を共にした。野蠻なる男と野蠻なる女は相並んで、自由に彷ひ、自由に働いた。而して婦人は滿足してゐた。

けれども變化が來た。人類が彷ふとを止めて、一定の場所に居を構へるやうになると、生活の分業が始まつた。男が獵や戰鬪に從事する間に、女は地を耕し、家を作つた、醫者にもなるし、僧侶にもなつた。男は戰ひ、女は種族を養つた。女は其の苦勞に堪へて、滿足してゐた。

やがて又變化が來た。幾時代か立つと、男は始終獵をしたり戰をする必要がなくなつたので、女の仕事を分つて、野に働き、家を作つたりするやうになつた。野原の樂しい生活は最早女のものでなく、女は唯門内に閉籠つた。其の生活は野原のよりも面白くないが、尚女は其の仕事をやつて、滿足してゐた。

然るに今や又變化が來た。全く新しき生活の舞台に入つた男の勞働に大なる變化が來た。

五十人位の男が家畜と一緒にやつた耕作の仕事を、唯一人が蒸氣力の犁を用ゆれば、一日かゝらずにやり終へるやうになつた。腦力万能の時代は來た。獨逸の一人の肺病やみの化學者の頭から現はれた新發明は、戰爭に於て一万人の勇士の働きに勝るやうになつた。年に月に、否時々刻々に、勞働の範圍が局限されて行つた。人間の勞働は腕力から智力に變つて行つた。智力に依つて生み出された文明の利器を使ふ術を知らぬ者は追ひのけられた。昔なら勇者と嘆美されるほど腕力の逞しい者でも失業者の仲間入をせねばならなくなつた。近代に於ては、腕力の勇者も、『我等に勞働を與へよ、然らずんば我等に死を與へよ』と失業者の苦しい叫び聲を發するやうになつた。

ドンキホーテに就て

植竹書院は本號廣告欄にもある通り、島村抱月片上伸兩氏譯のドンキホーテを出版した。この書は高田文相の序文にもある通り、人間性の一面を深刻に表現したもので、世界の代表的古典の一つである、其の滑稽諷刺の物語は讀者の心を歡ばすと同時に、何等か人生に對する嚴肅な教訓を與へるとさ思はれる。文部省の文藝院はつぶれたが其遺業が世に現はれるとは歡ばしい次第である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

醫者とくすり

醫科大學教授 藥學博士 丹羽藤吉郎

▲藥學の智識なき醫者

漢方醫は別ですが、今の醫者は總じて藥學の智識がありません。此藥の智識のない醫者が、今日藥を調合して賣つてゐると云ふ事はよく觀察して見ると甚だ危險な事であります。先づ醫者が患者を診察して處方を認め、之れを自宅の藥局へ廻しますが、其藥局に於て調劑に從事してゐるものは如何なる者かと云へば、多くは藥劑學の素養もない書生輩であつて、之れを患者に手渡して服用或は外用させてゐるのであるが、誠に恐るべき事であります。

▲怪しげなる調劑藥

一体今日の藥品は、少量で非常に效能を有するものである丈、少し分量を誤つても、大變な結果を見るのです。劇烈なものになると耳搔一杯で數十人の命を即座に殪す事さへ出來るものもあるので、其調劑者は愼重に愼重の態度を要するのでありますから劇藥については、法律で極量と云ふものを定めて、其分量以上は普通用ひさせぬ様にしてあるのであるが、藥劑學の智識もない様なものが、主人(醫者)の處方箋を見ても之は配合禁忌のもの之は極量超過なりなど一々糺す智識もなく之れに盲從して調劑してゐる。かゝる怪し氣な調製藥を服用してゐる患者は誠に危險なものであります。

▲闇から闇へ葬らる

醫者が診察して藥を與へ、そして病人が死んだ場合は、死亡屆け一通め醫者の手に依つて作られ、埋葬書が來て屍体は墓地に送られる。病者の死因については、果して天壽であつたか、醫者の誤診或は誤藥ではなかつた、少しも解らずして闇から闇へ葬られて終まうのであります。即ち醫者が一人で最初から終りまで貴重なる人命を取扱つてゐて、之れを監督するもの、ないのは甚だしい缺陷であります。物事は甲の爲す所を乙が監督し、乙の行ふ所を甲が批判するので、初めて正しく行はれて行くものであるに、獨り貴重なる人命が醫者の一手に托されてゐるのは誠に危險な事です。

▲醫藥を分業せしめよ

然らば如何にすればよいか。それは古くより化學的藥品を使用してゐた西洋各國の如く、醫師と藥劑師との責任を各自明かに分つて醫師は專ら診察と治療とを擔當し藥劑師は專ら調劑と藥品製造とに從事することになれば、誤診の責任は醫師に、誤藥の責は藥劑師に、明かに歸する事となりますから、被害者は其責任者を相手取つて法廷に訴ふる事が出來ます。また處方の誤謬過失等で、其儘調藥すれば非常に危險な場合でも、藥劑師の方に職責上既定の法規に依つて訂正し、調劑上の過失は醫師の方で患者治療の間に發見され、また政府の藥品巡視官に於ても之を取締まる事が出來ます。かく醫者と藥劑師との爲すべき事を分つは實に今日の弊風を矯正し國民衞生を完全にする道であるのです。國家衞生上國民公衆の爲め此醫藥分業が一日も早く本邦に實行せらるゝやうにと、私共は叫んでゐるのです。

▲病氣税が低廉になる

最後に若し醫藥分業になつたならば病に對して拂ふ經費病氣税が在來より高くなりはしまいかと心配する向もあらうが、決して高くはならない。總ての事業が分業的に經營せらるゝ時は、經濟上有利になるは今更云ふまでもありません。今時醫師の用ゆる藥品は藥劑師から買ひ入れるものです。然るに藥劑師が直接患者に賣る事になれば返つて藥價は低減される筈であります。醫藥分業は斯く病氣税も低廉となり、而して誤診誤藥の責も明瞭となるのであつて、國家が今日之れを實施し得ないのは、法律に不備の點があるからです。故に國民一般に其生命の尊重と病氣税の負擔を輕くせらるゝ樣、力を盡くさなければなりません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鯛の料理

万屋主　宇野彌太郎氏談

日本の婦人は買物をするのに少しづゝ幾色もゝ買つて參りますがこの位不經濟の事はありません少ない人數の料理に一つの品物を持つて幾種もの料理を作る事が必要です。今回は鯛一品と其の他少々の野菜とを以つて五品ばかりの料理が作る事をお話仕ませう。

一　椀盛（うしほ仕立）（鯛の眼肉　二、ゆず）
一　さしみ（鯛のそぎ作り　紅ぼうふ　わたりわさび　精い、土佐醤油）
一　鉢肴（鯛の鹽燒き　小かぶのあちやら　筆せうが）
一　小丼　鯛肉の大根卷き
一　千代口　しらあへ

椀盛

材料　出し、鯛の頭外あら

先づ出しをひき（第三號參照）まして醤油で味を附け次に鯛のあらを鹽で半うでにして、よく水洗ひして椀に盛つて汁を入れます。口は必ず抽子に限つたとはありませんが、重に季節の香ひを多く用ひるのです。

さしみ

材料（鯛、ぼうふ、わさび、鹽酢少々）

鯛を三枚におろし背の中央から二つ切りにし、中骨と皮を去つて上肉の處をそぎ切にして七切づゝ位ひ盛ります。もし鮪でもあしらひます時には鯛四、まぐろ三位の割合がよろしうございます。ぼうふは沸え湯の中に一寸入れて直ちに出して、鹽酢の中へ漬けて暫らく置きましたならば、二寸位の長さに切つておろしわさびと一所に附けて出します。

鉢肴

材料（鯛の切身、小かぶ、せうが、唐辛、鹽、酢、砂糖、味淋）

鯛の切身に串を二三本通し鹽を適度にふり、表になる方から遠火でなるべくこがさぬ程度に燒きます。次に小かぶは上下を切り取り皮を丸くむき面を取り、端から縦横に厚味の半ば位ひまでを細かく切り、鹽十匁に水一合五勺位の割の鹽水中に一時間程つけ、これを更に鹽五匁、沙糖五匁、酢五勺、味淋少々の割の中へ一日ばかり漬けて置きます。唐辛も小さく切つて同時に漬け、客に出します時には前の小かぶの中央に一切づゝ挿んで出します。筆せうがは第二號に書きましたから略します。

小丼

材料（大根一本、鯛肉五十目（五人前に付）出し、醤油鹽砂糖味淋干瓢少々）

大根を一寸二分ばかりに切り皮を去つて薄く廻しながら剥きこれを三寸宛位に切つて、湯がきます肉は一度よくたゝいて擂鉢でよく擂りましたらば、裏越にかけ鹽に味淋を加へて擂混ぜます。これを先きの大根につけて大根と一所に卷き眞中を干瓢で結び出しの中へ鹽と醤油とを入れたものゝ中で煮ます砂糖は最後に入れるのですがこれはあまり甘くないやうに致すがお甘うございますから、その積りでお砂糖をお使ひになつて頂きたい。お客様に出します時は干瓢を取つて出します。

千代口

材料（人參一本、こんにやく一枚、豆腐半丁、白味噌二十目、白ごま、砂糖少々、出し二合、醤油一勺）

人參もこんにやくも長さ五分巾一分位に切り、兩方とも湯で出しと砂糖、醤油とで煮ます。白ごまは色のつかないやうに煎つて擂鉢で擂ります。豆腐も味噌も裏漉しにかけて、ごまと一所に擂り混ぜ、先きの人參とこんにやくとを交ぜて盛ります。

主婦の手帳

▲珊瑚樹の汚れは

珊瑚の根掛が油で黒く汚れた時は掌に石鹸を溶いて根掛を洗ひますと汚れは奇麗に落ちます。併しその儘では白つぽくなつて居ますから水油を手につけて揉んでおきますと美しい光が出ます

▲靑銅の物は

靑銅で作られたものは磨いて光を出してはいけません乾いた布で丁寧に拭いて、艶布巾でよく拭いておきます。

▲艶布巾

すべて床の間とか、柱とか、書棚とか云ふ様な木で作られたもので、水雜巾を當てずに光を出さなくてはならないものは、艶布巾を用ゐます、艶布巾は晒布の上に皮をさりのけたいぼたを載せて、いぼたが溶け去つて晒布にしみこむ迄火にかざして用ゐます又晒布で袋を作り其の中に炒糠を入れてもようございます

▲銅の銹

銅製の物は鹽氣や酸氣のある手で觸れると銹が出ます。銹の出た時は其の銹の出た處に米糊をつけて紙を貼り日光に乾かして後、紙を取れば銹は取れます。一度でされなければ幾度も操返してします

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

胃腸病者としての余が養生法

薄田斬雲

△ツベルクリン注射

胃腸病は他の病人に比して顔が餘計に窶れる、身体の割に顔が痩る。肺病患者とは反對です。所で二三年前、一きりツベルクリン注射が大流行が、私の友人等が嚴丈な体格を以てして肺病豫防の名の下に此注射を行ふ者が頻りに、私に向つて、君こそ肺病が第一番に來そうだから早速注射をやれと勸めるのです。で、三ケ月間やつたら一生肺病の免疫となると云ふなら結構だと思ひ、日頃親しい醫者に相談しました。丁度廿日の新聞に、外國ではツベルクリン注射が無効だと云ふ議論が起つて居ると書いてあつたので、私は其事を云ふと醫者は答へて『それはモウ、外國で此注射に對する異論反對論が續出して何が何んだか一向見當が付かぬ有様です』と云ふ。そこで、私は『注射をやる金でそれ丈け美味いものを喰つて遊んで居た方が身体の爲めになりそうですな』と云ふと、醫者は、其の方が好いと言ひます。そして改めて私の骨格体質を檢して『貴方の身体は肺の方には縁の遠い骨格に出來て居ます、注射などしなくとも好いでせう』と云ふのです。

私は夫れ限りツベルクリン注射を斷念し、同時に、新藥新療法などの價値を怪しむ念が出ました。昨今は神經衰弱の注射療法が流行ですか、誰人か實驗の方は其後の經過を寄稿して吳れませんか、

△玄米は早く鎔ける

私には三分搗きの米を食ふて居ますが、過日、殘つた飯が、また腐敗する丈けの時間を經たない中にどろ／＼になつて居ます、一口味つて見ると鎔けては居るが、腐つた臭味はありません。で考へると米の糠は米の質を早く鎔かすのです、白米の飯なら形が整ふて居て腐りますが、玄米飯は腐らぬ中に形が崩れて鎔けます。夫れ丈け胃に入つて早く消化するのだらうと思ひます。

△鷄卵はどうして食ふか

鷄卵は半熟が一番消化が好いと云ふのが定論のやうですが、私の實驗から云ふと、体溫以上の熱を加へると云ふ抔は考へものです、熱の爲めに凝質して滋養價が減ずるかも知れません。と言つて生卵の白味をペロリと呑んでは、膠質狀の白味か却々消化しそうもありません。誰れも卵を丁寧に嚼んで呑む人はないのです。そこで私の方法は卵を捲き廻はす機械を用ゐるのです。何んでも舶來で三十錢内外かと思ひますが、左手で軸を押へて右手で歯車を廻す機械です、青木堂式の店には賣つて居ます、夫れで生卵を捲き廻すとすつかり泡立つて二百も廻したら丼をひつくり返しても卵が滴れません、それに鹽と砂糖を加へ、レモンを箸の先へ付けたのを一寸交ぜて、匙で掬ふて食ふのです、白味の膠狀質が全然細かい泡になつて居るから胃の吸收も容易、匙でゆつくり味つて居ると唾液も能く交ります。之が一番滋養價を損ぜず消化を早くする方法の様です。

△市中の鷄卵は大低腐つて居る

序に鷄卵の話を少し述べませう。私は此夏海岸に行つた折り、其地に六年以來から養鷄をやつて居る友人から色々鷄卵の事を聞かされました。第一に鷄卵は極めて腐敗の早い事、産んで一時間經てば夫れ丈け腐敗に近よつて居る譯です、二十日以上經過した鷄卵は、口で味はつて腐敗を感ぜぬにしても滋養價は極めて乏しいと云のです。處が毎月支那から輸入される卵の數は何十万と云ふ多數で、之は早くて四十日を經過して居ると云ふのです。我々が店から買ふのは大分支那卵かも知れません。四十日以上絶つて滋養價のないものと云ふ事になるのです。

だが、腐つて居るなら割つた時白味と黄味と交つて一見夫れとわかるだらうと言ひますと、然うではない、腐つても形を崩さぬ保存法は造作はないと云ふのです。第一黄身には一分位の目があります此の目が閉いて居るのは已に腐つて居る證據です。又外見ごつそりして白灰でも塗つた樣に見えるのは新らしい證據かと云ふて之れもいけない、生新らしい外見を得させる方法は、商賣人としては造作もない。そんなら外見上何を目安にして買へば好いかと言ふに、素人には外見上到底鷄卵の良否を判定すべき標準はない、唯だ其人の直覺に任せる外はないと言ふの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

です。

△上等の卵は新鮮なもの

新らしい良い鶏卵は、黄味は丸く浮上つて、其外に濃厚な白味が有つて、其外に薄い白味がある、こう三流にあつて居て、黄身の目は小さく〳〵まつて居るのです。足下へ大きな丼でも置いて目の高さで鶏卵を割り其丼へ落した時黄味と白味と混じらない様なのが本當の新らしい良い卵なのです生で食ふなら之れでなくてはならない割つて一寸箸でも當てると、黄味がどろりと崩れるのではだめです食つても滋養にはなりません。

△ミルクホールのカステーラは駄目

そば屋の月見に用ゐる卵丈けは確かなものです。淺草式の料理屋の卵焼きや、ミルクホールのカステーラなどは上等な卵を用ゐたとは思はれません。風月堂あたりのカステーラなら上等の卵だらうが最寄りのミルクホールでカステーラを食ふのはお目出度い。普通の食パンの方が好いと其の友人が言ひました。

此の話を二日も聞かされてから私は店から卵を買ふ氣がなくなり、卵を食ふ氣も、無くなりました。

△牛乳も駄目

尚ほ其友人曰く『牛乳とても煮沸して殺菌したと言つて自慢そうに廣告するが、殺菌と同時に滋養分も殺して居る、乳は母体の乳房から空氣にも觸れず直ちに乳兒の口腹へ入るからこそ十分の滋養價があるので、之を何時間も空氣に晒じ之を煮沸しするに於ては何の効もない、玄米のおも湯の方がいくら効があるか知れぬ』と、こう考へて來ると、我々文明人は文明中毒、滋養物中毒になつて居るので、養生法の自然主義に立復る必要がある様です。尚ほ次號には此の友人の鶏卵研究を發表しやうと思ひます。

婦人の防寒具

職業を持つ女に必要な股引

▲股を冷さぬ注意

寒くなると寒い國の女は甚に苦心する社會の者でも醜い股引を穿きますが、比較的暖かい東京では子供こそ股引を穿きますが、若い女達の中には股引を穿く人を見うけません。

男には昔から股引といふ防寒具があるのに、腰を冷やすのを怖れる女に股引といふ防寒具の用ゐられないのはおかしい事だと思ひます。座食して居た時の婦人には、炬燵だの懐爐だのといふ防寒具の外には股引など、いふもの丶必要はなかつたのでせうが、終日椅子に腰を掛けて居るやうな職業を持つ婦人とか、始終立働らいたり、出歩いたりしなければならない婦人は腰を冷さぬ様に防寒の用意をして置く必要があります。

それには股引だの都腰卷だの腰蒲團だのいろ〳〵ありませうが、股引は見た目が殺風景ですし、腰蒲團は、づれおちる心配があつて始末が惡るし、都腰卷は歩行の自由を妨げられるやうで氣持の惡るいものです。

▲腹巻と蹴出をつなぐ

見た眼もおかしくなく、防寒の用にも叶つて、氣持も惡るくないものをと考へた末、斯ういふものを試た人があります。

それは巾の廣い腹卷と蹴出しとつゞいた様なものでございます。

先づ毛糸製の襦衣の古くなつたのを兩手を切り放して、胴を丈一尺五六寸に切つて、此れに普通の蹴出しの少し短いものを縫ひつけます。前の合せめは、あはさつたまゝ縫いつけます。それから毛糸の部の上を引絞つて紐を通して用ゐます。

股引の様に見た處もおかしくなし、腰蒲團のやうにづれおちる心配もなし、都腰卷のやうに歩行にも氣持の惡るい事はありません。又切り放した兩腕は少し毛糸で加工すれば子供の股引が出來ます。

（翠代）

家庭小言

雲舟生

●余が友、毎朝早起して菊の手入をなし、直徑尺にあまる花を開けりとて誇る。余が庭の菊、植しのみにて少しの手入をせず、虫の喰ふにまかせしもの、矢張時季來れば、相當の花を開きて、清香を放てり。地の力の妙、植物の精の靈なるに今更驚かざるを得ず。

●わが家の女兒、生れて滿二歳、父の側に坐りて、字を書くを喜ぶ其の口にする所は、飛行機、自働車の如き文明の利器。親が最後に覺へしことは、兒が最初に學ぶ所なり。面白きは時代の進歩かな。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人自活の道

産婆

▼開業までの手順

産婆は看護婦と共に婦人特有の職業で、婦人の自活の途としては最も有力なるものであります。産婆たらんとせば、解剖學、生理學、産婆學、産婆に關する法令等の學科を研修すると共に實地姙婦に付て實驗して、臨床的智識を修得せねばなりません。それには手づるを求めて産婆の見習に置てもらひ、[illegible]に日修しながら實地の方を見習し、內務省の檢定試驗を受けられてもよいのですが東京では帝國大學附屬病院の産婆養成所、半藏門外の日本産婆看護婦學校、駿河臺の濱田産婆養成所等の指定養成所があるから、此所で二年若くは三年學んで卒業すれば、內務省の試驗を受けずとも免狀を受け開業が出來ます。此の檢定を受けるには高等小學校卒業以上の學力がなければなりません。

▼東京よりも田舍

かくして免狀を得てからでも直ぐ開業は不安心です。古く開業してゐる産婆の下働きでもして、一二年實地の腕を研いてからにせねばなりません。そして東京市內で新に一戸を構へて開業するならば如何にしても一ヶ年半は寐食ひする準備でかゝらねば中途で廢業の悲運に遇はぬとも限りません。なぜなれば東京には信用を築き上げた老産婆が多いし病院も隨所にあるのですから、腕も解らず信用もされぬ新米産婆には來てくれません。けれども一年經てばぼつ〳〵仕事も出來、一箇年半になると經濟が立つてゆけます。少なくて三十圓內外の月收は見られませう。東京も少し郡部へ行くと間もなく客がつき易い、けれども將來の大發展を望まれませんでせう。更に東京で修めた技術を看板に、田舍で開業すれば東京仕込といふので割合に早く人に知られ、獨立經濟のとれる時期も遙かに速に參るさうです。

婦人の聲

□一個の爆彈

榮華に誇る、田端の御殿から、無一物となつて、生活の改造をなすべく、原町のうら淋しい二階家に移らねばならなかつた、落伍の人日向きん子女史を、『一人一評』の第一頁に祭りあげた雲舟氏の皮肉に、私は何うしても心もちよく考へることは出來ないけれど併しその生ける悲慘な事實は、天下幾百萬のあらゆる女性の前に一個の爆彈を投じたものではないか、雲舟氏が、わが愛する婦人週報創刊號紙上に於て、さういつた文字以外の更に大なる刺戟を與へてわが婦人界に一大警醒を與へられたことを多として感謝せざるを得ないのである。（福原愛淚）

□氣の毒な都會の女

私は東京の中流以上の御婦人方は、實際お氣の毒だと存じます。毎日のやうに慈善會、音樂會、何圖書の刊行等と、玄關に贊助を求める人が多いので、終にはお斷りをするのを一つの役目のやうに考へ、成るべく巧みに逃げ口上を工夫します。それで書物でも雜誌でも、只義理に買うといふ調子で、書架に積んで置く斗りです。日常生活は益々事務的に傾いて、しんみりと讀書したり、考へたりする暇がないので、次第に輕薄になつて行く斗りです。或書肆の話によるとこの頃は地方の婦人の方が、圖書の購買力が強いさうですが、歴史はいつも都會の人が地方の人に征服されると申しますが、圖書一つにもよくその狀態が現はれて居ると存じます。（桂子）

□靈肉共に生きん

私にとつては、肉の生とか死とかいふ問題はあまり大したものではありません。それよりは生きながら死んで居た過去の生活が呪はしく成ました。つまり肉體の死に依て靈に生き樣としたのですそれも九分九厘といふ處で生きねばならぬ意地が出來たから、機械的に生きたのですが、それはもう過去です、現在の章子は靈にも肉にも生きやうとしてゐます（章子）

□富士を見ながら

私は毎朝富士を見ながら學校に通ひます紫がゝつた富士が紅みを帶びてゐる美しさ、繪も言はれませぬ。そして純朴な生徒を相手にきやつ〳〵と笑つて愉快に暮すのですが私の生は之丈で終るのかと思ふと、何だか物足らぬ所があります。もつと意味ある人生を送りたいもつと全心全靈を献げて見たい樣な感じがします（のぶ子）

■投書歡迎■　どうぞ御投書下さい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

身の上相談

行儀見習ひにても

△私の娘は今年十八歳になり田舎の女學校をこの春卒業して、今では家で裁縫させて居ります。身分不相應に教育致しましたので田地持などから相應の貰ひ手もありますが、親も本人も同じくは本人のしつかりした、共稼ぎをしても先の望みのある處に、嫁入らせたいと思つて居ります。就ては狹い田舍に置くよりも、東京邊の立派なお屋敷に御奉公をさせて、行儀見習はせ旁、時機をまつ樣にしたら如何なものでせうと思ひますが、事情が一向分りませんから、お伺ひ致します。（信州在の人）

（答）行儀見習ひなどいふ事は德川時代からの遺物で、餘り善い事とは思へません。東京ではどんな大家でも、女中の必要があるから女中をおくので、行儀を見習はせてやる爲に、女中自身の爲を謀つて、女中をおくやうな家は全くないと申して宜しうございます。大家に女中にやつた所で、女中同志の關係があり、又其家の令息や書生などに對する種々複雜な事情があつて、あなたの娘は行儀を見習ふより先にどんな事を見習はされるか知れません。一二の善い例もないではないでせうが多くの場合甚だ危險だと思ひます。其故さういふ危險な地に踏み入れさせるよりも御家で充分御仕込になつて、結婚させなすつた方が善いと思ひます。高等女學校も御卒業なされば女子として一通の事物は心得て居られる筈ですから其以上は書物なり雜誌なりで世の中の知識を得さすれば結構だと存じます。

▲編輯室より

▲まだ編輯の秩序が立たぬので、同人は毎晩夜業をやつてゐます。皆風邪に襲はれて、頭痛鉢卷をしてゐる中に雲舟氏一人泰然としてゐます▲今度の號は計らず女子高等師範の記念號のやうになりました。穗積さんや木村さんの話など、同人が書きながら、くすくす笑ふ。『どうしたのです』と言ふと、書いた原稿を讀み上げます。『成程面白いですな』と可笑しさの合槌を打ちました▲號をかさねるに從つて、評判が好いやうですが、同人はもつと内容を充實させたいと願つてゐます▲本號から『寄生論』といふジユライネルの筆を揚げたのも其のためです。各面とも報道よりも研究的にしたいと思つてゐます▲先月編輯局で『あなたは御兩親がおありですか』ときくと、誰も皆『あります』と答へました『御兄弟はそろつてゐますか』と言へば『そろつてゐます。一人も缺けないで』と皆答へました同人は此の点に於て幸福な人々です。

購讀者諸君へ

購讀料をまだ御拂ひ込みにならぬ方は、どうぞ御願ひいたします振替は東京三一六六〇番ですから之れを御使用下された方が御便利です。振替御使用の時には、取り扱料として一錢餘分に御拂込み下さい。

社告

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に悩める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用は要する御相談は實費を申受けます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外、午後零時より午後四時迄です。

顧問

衆議院議員文學士　小山東助
辯護士法學士　杉山賢三
法學士　高田愼吾
婦人週報主幹　小橋三四子

主任（前讀賣新聞身の上相談主任）松本雲舟

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社内

人事相談所

電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

護謨製氷枕

左の特價で御取次をします
品は御請合致します。

大 四十五錢の處 特價参拾五錢 送料貳錢
小 四十錢の處 特價参拾錢 送料貳錢

婦人週報社代理部
東京市牛込區市ヶ谷田町
貳丁目拾七番地
電話番町 四五六六
振替東京三一六六〇番

(越)の歳末

三越呉服

十二月一日より 歳末年始贈答品
十二月一日より 格安反物雑貨見切品
十二月一日より 羽子板
十二月一日より 餘技作品展
十二月十日より 新年用食器陳

婦人週報讀者
特價提
米國シンガーミシン
家庭

特製
体裁優美に
裁縫刺繍に
キャビネ
裝飾用に
新式
ミシ
外に和服裁縫
種類及定價
の方は婦人
申込を乞ふ

婦人

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

店

賣出し

賣出し

陳列

覽會

陳列會

…に限り

…供!!

會社

用ミシン

にして和服

に最も適す

ット型及び客室

にもなる

ミシン

に最も適する

ン數種

表の目録御望み

週報社へ直接御

週報社代理部

◎會員募集

會費年參圓 特別年六圓

日本藥草研究會

横濱市青木町一九五五 振替東京壹六五四參番

（顧問博士學士等、主幹千葉晩香）

◎會員ニハ藥草ヲ無代配布シ及藥草研究報告ヲ爲ス會則貳錢ヲ要ス御大典記念ノ爲メ各種藥草ヲ配布シ其利用法ヲ示ス

産科 婦人科 小兒科

女醫 井出茂代

東京府内藤新宿番衆町三十一番地

電話番町三六七七番

京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新らしき品同様美麗にいたし候

あらいはり、しみぬき、ゆのし

右之通迅速を旨とし精々入念廉價に調進可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏に奉願上候 宮内省初め女子大學校の御用を承り居候

東京市本郷區湯島新花町八番地（靈雲寺門前）

井筒屋支店 中村榮次郎

電話下谷五六七四

御注文の節は御一報被下候へば早速御伺可申候

齒科

ドクトル 富田貞一

電話浪花五四〇五

日本橋區高砂町六（久松町停留場より西一丁）

全譯 ドン・キホーテ

文部省文藝委員會選定

上下二卷大形菊版上卷九百參拾參頁下卷千〇貳拾九頁ドンキホーテに關する泰西名畫精巧無比の凸版三色版にて六十葉入

四箇年の星霜を費せる稀有の大飜譯｛內容見本｝（に委し往復葉書にて申込あれ。）

バイブルに次で世界第一の讀者を有す。日本唯一の全譯書家庭學校必備の名著

高田文相序

歷史の推移は神の篩である。瑣末無價値のものは不斷に篩ひ落され、獨り永遠性を孕めるものゝみが常に赫奕たる光を放つて行く。優れたる古典は、取りも直さず此種の極めて少數なる藝術に外ならない。而して『ドン・キホーテ』の如きは方しくその一である。由來『ドン・キホーテ』と言へば、一概に滑稽なる人間のポンチ書の如く思はれてゐるが必ずしもさうでない。滑稽の裡にも眞摯と誠實とがあり、可笑味の底にも一味の哀調と懷しみとがある。要するに本書は人間性の一面を深刻に表現せるもの、即ち永遠の生命ある所以であらう。わけても過渡期

セルヴンテス著
島村抱月 片上伸 共譯

に在る我國現代の人々に對しては、痛切なる諷刺として大いに訓ふる所あるを疑はない。嘗て文藝委員會が世界に於ける代表的古典の飜譯を企てたる際に、先づ本書をその一に選定したのは恐らく此故であつたらう。文藝委員會は その後廢止せられたが、當時本書の飜譯を擔當せられた島村抱月及び片上伸の兩君は、その事業を繼續しこゝにその出版を見るに至つたのは、誠に我が讀書界の爲に喜ぶべきである。 余は何人に取つても面白くして且つ意味深きこの一書を、 敢て一般讀書子に薦める。

定價各參圓貳拾錢特價各貳圓七拾錢郵稅各十六錢
特價期限十二月廿日限り
（締切期日嚴守）

御大典記念出版

發行所 株式會社 植竹書院
東京麴町區三番町八十四■振替東京一二九五三

帶上げ

此の繪は何に………
新發明の帶上げ止
●帶上げが下がら
テキ」●おたいこの
で呼吸器病に罹ら

販賣店
三越呉服店
白木屋呉服店
松屋呉服店
大西白牡丹
小間物問屋 万新商店
小間物問屋 富士喜商店

□定價□
並製 三十錢
上製 四十錢
特製 五十錢より

■使用法■
圖の如く下締へさし込んで帶
帶上げを一緒に帶上げ止の
に載せるのであります。

●生式役のもて人部ん
理て帶が直見本の。
●日をがきかくえ
本御るさ出結ま

大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正四年十一月廿六日發行
本紙定價 一部金四錢五厘（郵送料共）半年（廿六部）前金壹圓 ▲三月十三 ▲一年（五

の革命!!!

◎貴婦人愛用

あら未だ知らないの………
止め………効用は………
ぬ●胸を締めぬ●後姿が「ス
ッ形が立派●胸の呼吸が自然
ぬ

專賣特許

衛生帶上げ止め

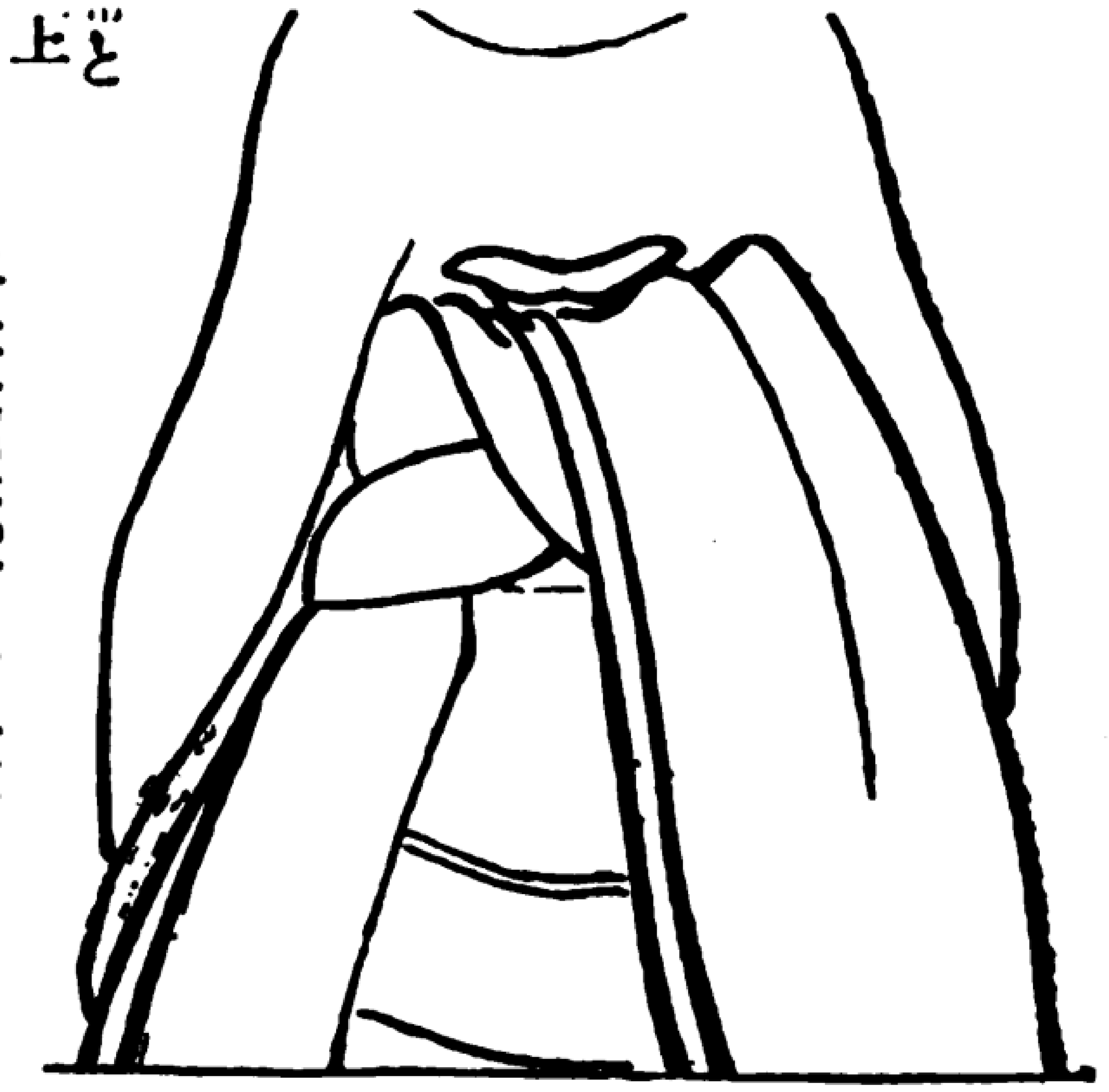
醫學上より見たる衛生帶上げ止め

上男子の呼吸は腹式で女子の呼吸は胸あります其れは女子には妊娠と云ふ大あるからであります然し之が爲め從來上げ丈けではどんなに強く締めつけてきづり落ちて「おたいこ」の形がくづれ苦しくなります本品を御使用あれば婦來の胸式呼吸を完全に營む事が出來胸發達を阻害する憂ひは少しもありませ

婦人美より見たる衛生帶上げ止め

婦人の美點は髪と帶とにあります本品用ひになればどんなにしても帶上の下事なく「おたいこ」の形も締めたまゝにりん」となつて終日後ろ姿の美を保つ事來ますなほこの帶上げ止めては帶を高ぶことが出來ますから背がすらりと見す。

(帶上げは丸髷形が一番調和します)



(本社代理部でお取次いたします)

上と

家庭週報

■家庭週報は四六四倍大八頁のもので毎週金曜日に發行致します。

■家庭週報の内容は主として日本女子大學校卒業生の研究。經驗及思索。文苑の發表機關にあて又廣く一般婦人の眞面目なる所信の發表機關にあてゝ居ります、尙婦人に關する諸先輩の意見を乞ふて掲載致します。

■家庭週報の抱負は廣く婦人の伴侶となり、慰安となり指導となつて行くことを期して居ります。

■家庭週報は常に研究的態度を以て改善進步に務むることを忘れません。

■家庭週報は編輯は勿論事務、發送、廣告等總て女子の手に依つて經營せられて居ります、故に家庭週報そのものが旣に女子研究の好材料と見らるゝことを覺悟して居ります。

▲定價一部(郵稅共)金三錢五厘
○半ヶ年分前金八十五錢　一ヶ年分前金一圓六十錢

發行所　東京市小石川區日本女子大學校內　**櫻楓會**

電話番町　二一六五　振替貯金口座東京　一〇三四〇

院長診察月、水、木、金午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麴町區三番町三十番地(市ヶ谷見附內)
電、番六二番　**東洋內科醫院**
院長　醫學士　**高田畊安**

電話ちがさき二番　**南湖院**
相州茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

部前金五十四錢
二部)前金貳圓

廣告料　一行金四拾錢　一頁金六拾圓　一段拾貳圓

婦人週報社　東京市牛込市谷田町二丁目十七番地
電話番町四五六六番
振替東京三一六六〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA